



フィービとセルビ・ウォージントン さく・え/まさき りこ やく

# あかね文庫お話しの会 おひさまだより



## クリスマスえほんの紹介



### 『ゆうびんやのくまさん』

P・ウォージントン/S・ウォージントン 作  
まさき りこ 訳 福音館書店

クリスマスにプレゼントを配るのは、サンタさんだけではなく、郵便屋のくまさんはクリスマスイヴの朝早く、手紙や小包を届けます。仕事を終え家に帰ると温かいお風呂につかり、暖炉の前で夕食をとり、ベッドに入ります。くまさんは夜中に来るサンタさんのために、温かい飲み物とお手紙をそえる心づかいも忘れません。お手紙になにを書いたかは、本を見て確かめてね。イヴの晩の一日の仕事を終えた充実感と思いやりの気持ちが伝わってきます。

### 『そりぬすみ大さくせん』

マイケル・フォアマン さく せた ていじ やく 評論社

ある時、大どろぼうの一団がよりもよってサンタ・クロースを盗もうと大作戦をたてます。みんなサンタに変装してロケットに乗って出発！ まんまとサンタをそりごとロケットの中にさらってしまいます。ところがこれを見ていた世界中の子どもたちが怒り出し、どろぼうたちに立ち向かいます！ さあ、そのゆかいな結末をおたのしみに！

### 『クリスマス・イブ』

マーガレット・ワイズ・ブラウン ぶん ベニ・モンテソール え  
やがわ すみこ やく ほるぷ出版

雪の降るクリスマスの前夜。わくわくして眠れない子どもたちは、夜中にそっとベッドをぬけ出し階段を下りて居間へ...。そこには光り輝く大きなクリスマスツリーとプレゼントがあります！ 外からは聖夜の歌声が聞こえてきます。クリスマス・イブの静けさと子どもたちの期待にみちた心のときめきが伝わってくる珠玉のクリスマス絵本です。



### 『ぐりとぐらのおきやくさま』

なかがわりえこ 文 やまわきゆり  
りこ 絵 福音館書店

のねずみのぐりとぐらが森で見つけた大きな足跡をつけていくと、自分たちの家に着きます。家の中にはだれかいます...！ その時、台所からおいしいにおい！ なんと白いひげのおじさんがぐりとぐらのために、とびきり大きくておいしいようなクリスマスケーキを焼いていました。そのおじさんの正体は？



### 『ちいさなもみのき』

マーガレット・ワイズ・ブラウン さく  
バーバラ・クーニー え  
やがわ すみこ やく 福音館書店

森のはずれの一本の小さなもみの木と足の悪い男の子との出会いと心のふれあいを、静かにやさしく描いたクリスマス絵本です。子どもたちの歌うクリスマスキャロルには 音符もついています。一緒に歌ってみてはいかがでしょうか。

## 小さなおともだち

### “くりすますってなあに？”

プレイルームの本棚にクリスマスの本を並べようとしていると、Kちゃんとうまくママが遊びにきました。さっそくKちゃんに小さなクリスマス絵本を読みました。『クリスマスのみつつのおくりもの』（三冊セット 林明子さく 福音館書店）です。かすみちゃん、もつくん、れいちゃんのきょうだいが、それぞれすてきなおくりものをもらうお話です。どれも読み終わるとKちゃんもうれしそうににっこりします。でも、その後でKちゃんが一言。「くりすますってなあに？」そうか、3歳のKちゃんにはまだクリスマスの意味がわかっていなかったのですね。どうぞこれからKちゃんにもクリスマスの喜びと幸せな出会いが訪れますように祈っています。